

新幹線N700系・走行中に屋根上絶縁板落失!

事故状況・原因究明・対策など緊急申し入れ!

新幹線修繕に携わる社員がマスコミから事実を把握!
このようなことで安全が確保されるのか!

7月27日、新大阪～東京間を走行中の新幹線N700系車両の屋根上絶縁板がはがれ落ちる事故が発生しました。

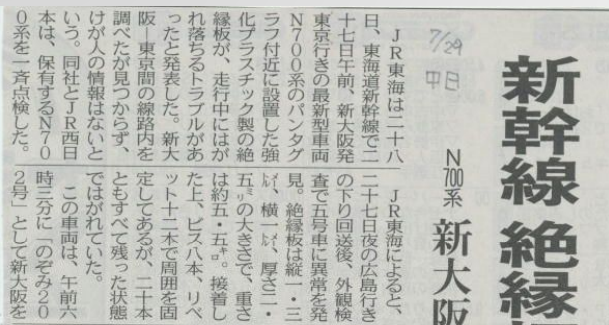
マスコミ各紙は、「縦1.3^m、横1^m、重さ5.5^{kg}の強化プラスチック製の板で、ビスとリベットで固定していたものがはがれた」と報じています。職場でも、車両の一斉点検が指示されていますが、事故概況などは一切説明されていません。車両修繕に携わっている社員も新聞で概況を知るしかありませんでした。このようなことは、再発防止や真の安全が確保されるとは思えません。

本部は、重大な事故との認識に立ち、事故概況、原因究明、再発防止対策、社員への速やかな情報開示を求め、関係地本と共に緊急申し入れを行いました。

この間、私たちは、事故が発生した場合などは、速やかに社員へ情報開示を行うよう求めてきました。しかし、会社は一貫して、一部の管理社員のみによる極秘対応に終始しています。現場第一線で働く社員へ情報を開示せず、意見を聞き、再発防止に反映させようとしない姿勢は、真の安全確立とは無縁です。直ちに労使協議を要請します。

この間、私たちは、事故が発生した場合などは、速やかに社員へ情報開示を行うよう求めてきました。しかし、会社は一貫して、一部の管理社員のみによる極秘対応に終始しています。現場第一線で働く社員へ情報を開示せず、意見を聞き、再発防止に反映させようとしない姿勢は、真の安全確立とは無縁です。直ちに労使協議を要請します。

会社は、社員に情報を開示せよ!



この間、私たちは、事故が発生した場合などは、速やかに社員へ情報開示を行うよう求めてきました。しかし、会社は一貫して、一部の管理社員のみによる極秘対応に終始しています。現場第一線で働く社員へ情報を開示せず、意見を聞き、再発防止に反映させようとしない姿勢は、真の安全確立とは無縁です。直ちに労使協議を要請します。



N700系新幹線の屋根上から走行中に絶縁板がはがれた車両

安全確立に向け、労使協議を開催せよ!

7月29日 中日新聞